



いま、あなた自身に鮮やかな衝撃——

マンハッタンでひとり  
見知らぬ夜に抱かれて 性にさすらうテレサ...

ミスタ

LOOKING FOR MR.GOODBAR

# グッドバーを探して

監督・脚色 リチャード・ブルックス

●全米で驚異の大ベスト・セラー  
原作ジュディス・ロスナー

ダイアン・キートン

チューズデイ・ウエルド/ウィリアム・アザートン/リチャード・カイリー

■カラー作品

パラマウント映画

CIC配給

## ■スタッフ

〈製作〉  
フレティ・フィールズ  
〈監督・脚色〉  
リチャード・ブルックス  
〈原作〉  
ジュティス・ロスナー  
(早川書房刊)  
〈撮影〉  
ウィリアム・A・フレイカー  
〈美術〉  
エドワード・カーファグノ  
〈音楽〉  
アーティ・ケーン  
〈編集〉  
ジョージ・グレンビル

## ■キャスト

〈テレサ〉  
ダイアン・キートン  
〈キャサリン〉  
チューズティ・ウエルド  
〈ジェームズ〉  
ウィリアム・アザートン  
〈父親〉  
リチャード・カイリー  
〈トニー〉  
リチャード・ギア  
〈マーチン〉  
アラン・フェインスタイン  
〈ゲーリー〉  
トム・ベレンジャー  
〈キャップ〉  
レバー・バートン

# LOOKING FOR MR.GOODBAR



# ミスター グッドバーを探して

## \*これは衝撃的な映画だ！

(ニューヨーク・ポスト)

一人暮らしの若い女性の刺殺死体が、彼女のアパートで発見された。遺体は全裸で胸部から腹部にかけて10ヶ所以上の刺傷があり、その陰部には死の直前に性交の痕跡があった。部屋はさほどの乱れはないが、ただコカインの包みが散乱しているのが目を引いた。

彼女の名はテレサ。聾啞学校の教師である。その彼女がなぜ、どうしてこんな事になったのか？そこには昼間は教師として信頼されているテレサの驚くべき夜の顔があった……

公開以来、全米の女性たちを騒然とさせ、記録的ヒットを続けている期待の話題作である。女性を主人公にしたこの映画の爆発的ヒットの裏には何があるのか？いまその全てが明らかにされるのである。

## \*人間のセックスをこれ程までに強烈に、赤裸々に描いたアメリカ映画はない!!

(ニュース・ウィーク)

ヒロインの抑えきれない「性」への欲望、腐敗しきつたモラルなどが、女の生臭さと一体になっていくこの映画は、全く新しい“女を描いた”映画である。

“ハリウッドが成し得たリアル感あふれるセックス・シーン”と絶讃された生々しいカメラワーク、言い尽し難い衝撃を与える後半からのもの凄いショッキング・シーンと話題は尽きることがない。

## \*スクリーンを焼きつくすようなダイアン・キートンの演技!!

(ニューヨーク・デイリー・ニュース)

主役のテレサを演じるのはダイアン・キートン。明暗二つの顔を持つ女性を演じ、早くも各賞の候補にノミネートされている彼女は、アメリカ映画期待の若手女優である。

これまで「ゴッドファーザー」「ボギー！俺も男だ」「アニー・ホール」などに出演していたが、本格的主演はこの作品が初めてである。

彼女を囲む共演陣には、「シンシナティ・キッド」のチューズティ・ウエルド、「星の王子さま」の「リチャード・カイリー」、「ヒンテンブルグ」のウィリアム・アザートンら演技派が起用されている。またブームとなったTV映画「ルーツ」で主人公キンタ・クンテの少年時代を演じたレバー・バートンが映画デビューしているのも話題である。

## \*リチャード・ブルックスは巨匠だ！

(ニューヨーク・タイムズ)

映画化不可能と言われたこの作品を完成させたのは「プロフェッショナル」「冷血」の「リチャード・ブルックス」監督である。誰もが尻ごみしていたこの企画に惚れこみ、自ら脚色も担当している。

原作はジュティス・ロスナーという女性が書いたベストセラー。撮影は「未知との遭遇」のウィリアム・A・フレイカー、音楽はアーティ・ケーン。ドナ・サマー、コモドアーズ、ルマ・ヒューストン、ダイアナ・ロス、オージェイス、ボズ・スカッグス、ビル・ウィザーズ、そしてマリナ・シヨウといったビッグ・アーティストたちがバックを飾っている。